

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスLEIF五日市			
○保護者評価実施期間	2025年1月16日 ~ 2025年1月25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数)	35
○従業者評価実施期間	2025年1月16日 ~ 2025年1月25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	チームプレーや集団での活動を通じ、ルール理解や他者と協力する姿勢を育みます。活動の中での自然な関わり合いにより、適切な言葉かけやコミュニケーション能力を高め、円滑な人間関係を築く社会性を強化しています。	一人ひとりを「認め、褒めて、勇気づける」肯定的な関わりを徹底し、お子様の自己肯定感を育むことに注力しています。また、荷物管理や活動の準備・片付け等を子どもたち自身が実践する環境を整えることで、自ら考え見通しを持って行動する「認知・行動の力」の習得を促しています。	将来の社会生活や就労を見据え、集団での活動で培った力を、実際の地域社会で発揮・定着させる機会を意図的に創出しています。積極的に地域へ出向くイベント活動を通じて、公共のルールやマナー、予期せぬ事態への対応力といった実践的な社会適応能力の向上に努めています。
2	サッカー等のスポーツ療育を通じ、基礎体力の向上と心身の健康維持を図ります。「できた！」という達成感から自己肯定感を高め、楽しみながら運動習慣を身につけることで、生涯にわたる健康管理の土台を築いています。	安全管理を最優先事項とし、気候や季節特性（熱中症対策等）に応じた柔軟なプログラム編成を行っています。また、個々の運動発達段階を見極め、身体地図（ボディイメージ）の形成や力加減のコントロールといった「身体の使い方」をきめ細かく支援することで、無理なく活動に参加できる安心感と、挑戦意欲（情緒面）の向上を図っています。	事業所とご家庭で一貫した生活リズムの形成を目指し、連携体制を深化させています。日々の情報共有を通じて生活習慣の課題を改善し、規則正しい生活を定着させることで、お子様の集中力向上や感情コントロール（認知・情緒面）の安定を促し、学習や運動に向かう意欲を高めてまいります。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	療育の特性上、日によって活動場所（公園やグラウンド等）が異なるため、被災時の避難経路や安否確認の手順が複雑化やすい点が課題です。あらゆる外出先を想定した、柔軟かつ迅速な安全確保体制のさらなる強化が求められています。	活動拠点が多岐にわたり日々変動するため、利用する全ての外部施設において実地形式での避難訓練を行うことが物理的に困難であり、具体的な避難行動の確認が現場ごとの実体験として蓄積されにくい点が要因です。	主要な活動場所ごとのハザードマップ確認と避難場所の周知を徹底します。今後は外出先ごとのシミュレーション訓練等を強化し、実地訓練ができない場所でも即座に判断・行動できる危機管理能力を養います。
2	スポーツを中心とした身体活動を行うため、一般的な事業所に比べ怪我や急な体調変化のリスクが想定されます。緊急時における職員間の連携や、初動対応・判断のさらなる迅速化との確実化が継続的な課題です。	激しい動きを伴うスポーツ療育の特性上、衝突や転倒のリスクが内在しています。また、利用児の身体能力や危険予測能力には個人差があり、活動中の突発的な事故や怪我を未然に100%防ぐことが困難な点が要因です。	救命講習の定期受講やヒヤリハット共有を徹底します。緊急時対応マニュアルを実態に即して見直すとともに、役割分担の明確化とシミュレーション訓練を重ね、万が一の際に全員が冷静に対処できる体制を強化します。
3			